

【お花畠会場 基本設計】



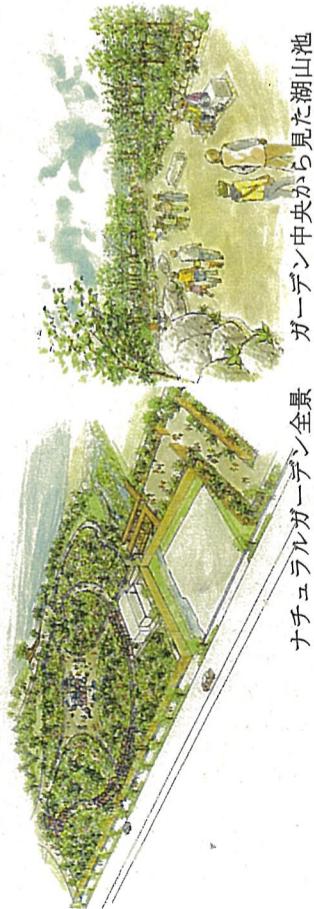
① ■出会いの広場ゾーン



「鳥取のもてなし」

- ◆賑やかで活気溢れるとつとりフェアのエントランス空間
- ◆満足度の高い時間を過ごすためのサービスの提供
- ・砂像と植物の競演による「もてなし」
- ・並木と草花による「もてなし」
- ・「食」と「植物」との出会い、

② ■ナチュラルガーデンゾーン



「鳥取の新たな緑」のカタチを伝える

- ◆とつとりフェアでしか見ることのできないナチュラルガーデンの展示や演出
- ◆ハードとソフトの両面から鳥取流緑化スタイルの認知、浸透を図る
- ◆ハードとソフトの両面から鳥取流緑化スタイルの認知、浸透を図る
- ・期待感を高める「多年草の回廊」
- ・ガーデンエントランス
- ・樹木、草花が多彩な魅力を魅せる『秋の競園』

1 ●主催者展示【ガーデンエントランス】

BIODIVERSITY

ビオダイバシティ（生物多様性）をテーマに、地球上に見立てた砂のコンテナに地域や動物を彫刻し、植栽テーマを設定したコンテナの多様な植物の魅力を見せる庭園植物の組み合わせは、植物と共に暮らす家庭でのヒントとなり、植木鉢一つ、小さな庭一つも環境に寄与することを伝えるガーデン

2 ●主催者展示【アースガーデン】

「鳥取の風景」

砂丘の「丘陵地形」を骨格として、次々と景（景色）が展開する「見え隠れ」の技法を基本に、その高さや生物のように美しく多様に変化する形態、添景物により、来場者が感動や驚きを体感・体験する庭園

